

「スキルアップ講座」カリキュラム

1. スキルアップ講座の目標

奉仕員養成課程を終了し、手話の特徴等は理解できているが十分に使いこなすまでには到達していない状況の者がスキルアップ講座を受講することにより、日常会話レベルでのろう者の手話が読み取れ手話の特徴を活かした表現ができるようになる。通訳者養成講座の受講レベルに求められる、技術・知識まで向上をめざす。そのため、以下のように養成目標と養成内容を定める。

実技 (16講座／24時間)	養成目標	1. 手話での日常会話において、ろう者の言いたいことがわかり、自分の言いたいことが表現できる技術のレベルアップ 2. 奉仕員養成講座で学んだ手話の特徴を「わかるからできる」にし、手話の特徴を使いこなせるようにする 3. 語彙数を増やす・手話の使い方の向上
	養成内容	★初期（4講座） ①ろう者との（手話での）会話に慣れる ②文法練習、入門、基礎の学習内容のレベルアップ ③各自の課題の把握 ★中期（7講座） ろう者の表現から学ぶ…ろう者の手話を読み取り、ろう者の表現の特徴を表現に取り入れていく学習 ★後期（5講座） ろう者との会話に自信が持てる。日常生活や身近なことをテーマに会話をする
講義 (4講座／6時間)	養成目標	①通訳者をめざす姿勢（思い、気持ち、心）を育てる ②通訳者の仕事を知り、関心を持つ ③ろう者とともに歩む姿勢を学ぶ
	養成内容	手話通訳にかかわる人たちの体験を聞く ①【ろう者の立場から】…手話通訳を利用したときの体験談を聞く ②【手話通訳者の立場から】先輩通訳者の経験を聞く ③【コーディネーター（通訳派遣担当者）の立場から】通訳の派遣状況の推移からわかるろう者の暮らし・社会の変化を知る ④【受講者のグループ討議と先輩通訳者との懇談】

2. 受講対象者

手話奉仕員養成講座修了者・または奉仕員養成修了者と同等レベルの者で、手話通訳者をめざす意欲がある者

3. 時間数

総時間 30 時間（1 講座 90 分、年間 20 回）＝実技 16 講座／24 時間、講義 4 講座／6 時間

4. カリキュラム

【実技編】

学習の柱	講座ねらい	学習内容	教材等の例
★初期 (4 講座) 手話での（ろう者との）会話に慣れる	第 1 回 ：課題の把握	身近なテーマ（知っていること）で会話をする 身近なことをテーマに会話をする ・習得できている単語・表現技術の範囲で会話をする ・持っている情報・知識のあることをテーマにする	地域で有名な 観光地・お店など
	第 2 回 ：奉仕員養成講座のレベルアップ 語彙数を増やす 意味に合った表現の工夫	表現の工夫のレベルアップ ・単語の使い方を広げる ・手話以外（顔・体・手話、身振り）の表現を広げる ・ろう者の表現と自分の表現を比較し表現の工夫を学ぶ ・上記から、自分の課題を把握する	イラスト 司会進行表・挨拶文とろう者の表現DVD
	第 3 回 ：奉仕員養成講座のレベルアップ、 動きや感情、手話の表情の総合的な表現	総合的な表現のレベルアップ ・絵本を教材に学習レベルを上げていく 会話で表現する⇒1 人で語る ・動きや感情、手話の表情を総合的に表現する	絵本
	第 4 回 ：ろう者との会話に慣れる	手話を使いこなす練習 ・地域のろう者との会話 ・身近なテーマでの会話	地域のろう者 自分のこと（習慣） 自分の地域のこと（慣習）
★中期	第 1 回 ：伝えるべきポイントを落とさず、 わかりやすく表現する工夫	ポイントをつかみ表現する ・ポスター・チラシなどを利用する ・伝えるべきことを漏らさず、わかりやすく表現する	ポスターやチラシ、DVD 映像教材を作成し、活用する

<p>(7 講座)...</p> <p>ろう者の表現から学ぶ ろう者の手話を読み取り、ろう者の表現の特徴を取り入れていく学習</p>		※イラストの使用	
	第2回 ：強弱・緩急の表現の工夫	「トリアスロン」 ・ろう者の表現から手話の特徴（強弱・緩急）を学ぶ ・それらの表現を取り入れ応用し、話を考える ・手話で表現する	『手話通訳者を目指す人たちの読み取り学習用ビデオ』
	第3回 ：複数人の会話の表現の工夫	「ピクニック」 ・ろう者の表現から手話の特徴（主語の明確化・方向・指さしなど）を学ぶ ・それらの表現を取り入れ応用し、話を考える ・手話で表現する	『中級 手話教室 ビデオ』
	第4回 ：位置や空間の表現の工夫	「自己紹介」「生い立ち」 ・ろう者の表現から手話の特徴（位置・空間）を学ぶ ・それらの表現を取り入れ応用し、話を考える ・手話で表現する	『応用 手話教室 ビデオ』
	第5回 ：手話文法の総合的表現の工夫1	「旅行」 ・ろう者の表現から手話の特徴を学ぶ ・それらの表現を取り入れ応用し、話を考える ・手話で表現する	『中級 手話教室 ビデオ』
	第6回 ：手話文法の総合的表現の工夫2	「私の夢」 ・ろう者の表現から手話の特徴を学ぶ ・それらの表現を取り入れ応用し、話を考える ・手話で表現する	地元のろう者に手話表現してもらい、それを収録し活用する
	第7回 ：手話文法の総合的表現の工夫3	「台風」「私の仕事」 ・ろう者の表現から手話の特徴を学ぶ ・それらの表現を取り入れ応用し、話を考える ・手話で表現する	『手話奉仕員養成・通訳 I テキスト』
<p>★後期</p> <p>(5 講座)</p> <p>ろう者との会話 ろう者との会話に自信が持てる 日常生活や身近なことをテーマに会話をする</p>	第1回 テーマ「団体活動について」	グループ・クラブ活動（学校・趣味・会社など）について 手話サークル活動について 社会的な団体活動（子ども会・町内会・PTAなど）について	
	第2回 テーマ「今・将来について」	今のこと…関心を持っていること、おかしい・困っていること・頑張っていること 何をしているときが楽しい？ 職場（学校）で最近話題になっていること 将来のこと…将来の夢について（自分・子ども・家族など） …これから（リタイアしてから・老後など）どのように暮らしたいか …これからやってみたいこと …10年後どんな社会になっているでしょう？	
	第3回 テーマ「思い出について」	・学生時代の思い出 ・子どもの頃の思い出 ・夏（春、秋、冬・お正月・夏休みなど）の出来事 ・今年一年（最近、昨年）楽しかったこと・大変だったこと ・若い時（子どものころ）夢中になっていたこと・流行していたこと ・印象に残っている出来事	
	第4回 テーマ「健康について」	・健康について気をつけていること（気をつけたこと） ・病気（夏バテ・熱中症・インフルエンザ）を防ぐために気をつけている ・元気であるために気をつけていること	
	第5回 テーマ「その他」	災害（大雨、水害、地震等）あったことある？ 手話学ぶきっかけは？ 手話通訳になりたいですか？	

【講義編】

講義のねらい

講義を通して「手話通訳者を目指して頑張ろう!」という学習意欲の動機付けをすることを目的とする。

そのために

- ① 手話通訳を利用するろう者の体験談を聞き、ろう者にとって手話通訳者はどのような存在なのかを考えるきっかけにする
- ② 先輩通訳者の経験から、手話通訳者になるための学習過程、通訳活動の中で学んできたことなどを聞き、自らの学習の糧にする
- ③ 通訳派遣担当者から、派遣の実態からわかる聞こえない人たちの暮らしや手話の広がり、社会の変化（通訳を受ける聞こえる人の意識）を知る。
- ④ 上記の講義を受け、先輩通訳者との交流・受講者同士の交流を通して、各自の疑問や課題の回答を見つけるとともに、研鑽し合う関係作りのきっかけとする。

	講義テーマ	講義のねらい	講義の柱	進め方
1 回	【ろう者の立場から】 手話通訳を利用したときの体験談を聞く	手話通訳利用時のろう者の体験談を聞き、ろう者にとって手話通訳者の存在の意味を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての通訳依頼 ・こんなときに通訳派遣を利用しています ・通訳派遣を利用して良かったこと・うれしかったこと ・みなさんへの期待 	講義形式 座談会の方式 (年代別)
2 回	【手話通訳者の立場から】 先輩通訳者の経験を聞く	先輩通訳者の経験を聞き、手話通訳者養成学習の意欲を高める 通訳者を目指そうという気持ちになってもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者になろうと思ったきっかけ ・合格までの道 …勉強の方法（工夫したこと） くじけずに努力してきたこと ・初めて手話通訳をしたときのこと ・手話通訳経験の中から (うれしかったこと・失敗したこと・ほめてもらったこと) ・手話通訳者を続けている理由 ・みなさんへの期待 	講義形式 座談会の方式 (新人、中堅、ベテランなど経験値の異なる講師)
3 回	【コーディネーター（通訳派遣担当者）の立場から】 通訳の派遣状況の推移からわかるろう者の暮らし・社会の変化を知る	派遣の実態から、聞こえない人の暮らしや手話の広がりを知る 通訳を受ける聞こえる人の意識や社会の変化を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣の状況と推移からわかること 依頼件数の増加と依頼内容の広がり ・聞こえない人の暮らしの変化 ・通訳を受ける聞こえる人の変化・社会の変化 ・コーディネーターとして喜びを感じる時 ・みなさんへの期待 	講義形式 担当 <ul style="list-style-type: none"> ・センター ・派遣担当 ・設置通訳者
4 回	【受講者のグループ討議と先輩通訳者との懇談】	これまでの講義を聞いて意見交換をする 先輩通訳者との懇談を通して各自が持つ不安や疑問の回答を見つける その結果通訳者を目指そうという意識を持つことができる 目的や希望を持ち通訳者養成講座の受講ができるようになる お互いに研鑽し合える関係作りのきっかけにする	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3の講義の率直な感想をのべ合う ・不安や疑問について話し合う ・「先輩通訳者に聞きたいこと」を質問する ・今後の学習に向けてアドバイスをもらう ・受講者の希望や目標を述べる 	新人、中堅、ベテランなど経験値の異なる通訳者